

安心していただける医療を

- 新任医師の紹介・・・・・・・・・・ よろしくお祈りします
- 院内各科紹介・・・・・・・・・・ 脳神経外科
- 院内トピックス(1)・・・・・・・・・・ 外来化学療法室について
- 健康メモ・・・・・・・・・・ 前立腺癌検診のすすめ
- 院内部署シリーズ・・・・・・・・・・ 臨床工学室
- 検査室通信・・・・・・・・・・ 食中毒について
- 栄養管理課だより・・・・・・・・・・ 夏野菜を食べて夏場の疲れを吹き飛ばそう！
- 院内トピックス(2)・・・・・・・・・・ みえ乳がん検診ネットワークについて



第62回式年渡瀧「お木曳」 松村 徹氏（伊勢地区医師会カメラクラブ）撮影

市立伊勢総合病院 の基本理念

患者様の立場より
病院機能の立場より
地域医療の立場より

愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療
良質かつ高度の医療
円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療

新任医師の紹介

よろしくお願いします



畑崎聖二（脳神経外科）

出身地：堺市

出身大学：三重大学

前任地：アイルランド

特技/趣味：サッカー、スキー、映画鑑賞、読書、旅行

一言：始めまして、畑崎です。伊勢勤務は初めてですが、自然豊かで神秘的な雰囲気をもつこの地で働けることを楽しみにしています。脳神経外科では、伊勢地区へは現在三重県南部からも多くの患者さんが救急搬送される状況となり、今まで以上に他施設と協力し合い最良の治療を進めていきたいと考えています。また、よろしくお願いします。



院内各科紹介

脳神経外科



当科は現在、脳神経外科専門医（山本・畑崎）2人で治療に取り組んでいます。

慢性疾患だけでなく、緊急の頭部外傷や脳卒中に対しても可能な限り対応しています。

脳神経外科が担当する主な疾患

脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）、脳腫瘍、頭部や脊髄を中心とした外傷などが対象となります。必要に応じて手術を行います。血管内治療などの体に対する負担の少ない新たな治療法も進めています。

治療を受ける方、そのご家族の方へ

脳や脊髄の疾患はわずかなことで思わぬ事態を引き起こし、長期の入院が必要となったり、寝たきりになる可能性が非常に高いものです。よって意識障害、手足の脱力、呂律不全などの脳障害を示唆する症状がある場合はできるだけ早く医療機関へ連絡してください。

さらに、高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、飲酒といった悪影響を及ぼす事は結構身近な所にあります。定期的な検診、検査と健康管理でそうした事態を起こさぬよう、予防していく事が大切です。

当院ではMRIはもとより最新鋭のCTや脳血管造影装置を導入し、より積極的に早期診断、早期治療を行っています。

日々進歩する治療、診断、手技を積極的に取り入れることはもちろん、最新でエビデンスのある情報を取り入れ、提供し、皆さんの健康に少しでも貢献できますよう、努力していきたいと考えています。

院内トピックス

外来化学療法室について



これまで入院して治療しなければならなかった化学療法の一部が、化学療法の進歩、副作用対策の向上に伴い、家庭で生活しながら通院にて外来治療として行うことができるようになってきました。このため、当院では専用の外来化学療法室を設置しました。

6月1日より現中央処置室の奥（従来の点滴室）に、5台の電動リクライニングシートを設置し外来化学療法室としました。治療が長時間にわたることもあり、できるだけリラックスしていただけるようアメニティーの向上に努めています。

より安全に、より安心して治療を受けていただけるよう、医師・看護師・薬剤師らのチーム医療のもとリスクマネージメントの確立を進めています。

（内科 池田 健）

健康メモ

50歳以上の男性の方へ 前立腺癌検診のすすめ



前立腺は男性だけにある膀胱の下にある臓器です。精液を構成する成分を分泌する機能を持っており、男性の生殖機能に重要な関わりを持つ臓器といえます。この前立腺にできる癌が前立腺癌です。前立腺癌患者の90%が60歳以上であるとの報告があり、前立腺癌は高齢者の癌であるといえます。別の報告では50歳以上の男性の230人に1人は前立腺癌にかかっているといわれています。前立腺癌の診断は腫瘍マーカー(PSA)、直腸指診、経直腸的超音波検査を組み合わせで行い、疑いが強い場合は前立腺生検という検査で確定診断をつけます。このうち腫瘍マーカー(PSA)の検査は簡単な採血で測定できかつ精度が高いことより早期発見のもっとも基本となる診断手段といえます。前立腺癌の治療は、手術療法、放射線療法、内分泌療法と多岐にわたり有効な手段が多くあり、

早期に発見されれば癌を制御する事が可能です。前立腺癌は症状の出にくい癌ですので、50歳以上の方は一度はPSAの採血で癌の可能性を確認しておくことをお勧めします。

（泌尿器科医長 梅田佳樹）

院内部署シリーズ

今回は**臨床工学室**です。



臨床工学室の業務は、医師の指示のもと「生命維持管理装置」の操作及び保守点検を行うことです。具体的には以下のようなものがあります。

- ペースメーカー外来（内科特殊外来：第3金曜日）
- 心臓カテーテル検査（手術室：月曜日午後・木曜日）
- 末期腎不全治療（透析室：月曜日～土曜日）
- 機器管理（院内：適宜）
- 血液浄化（病棟：適宜）

以上の業務は、24時間対応しています。

臨床工学室は臨床工学技士4名で業務にあたっています。

臨床と工学、両方の立場から、医師の指示のもとチーム医療の一員として、他のスタッフと共に安全で安心していただける医療を提供できるよう努めてまいります。

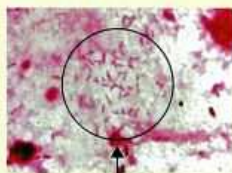
（臨床工学室 室長補佐 白前 晃）

検査室通信

食中毒について

近年、食中毒に対しての認識は変わりつつあります。

食中毒というと、夏の暑い時期を連想しますが、実は、気温の低下した季節でも食中毒は発生します。もちろん、これまで同様、6月～10月にかけて細菌性の食中毒は多発しますが、ノロウイルスなどによる冬期の食中毒も目立ってきています。また、海外旅行に行かなくても、輸入食品などからのコレラ菌や赤痢菌の感染も発生しています。



カンピロバクター

食中毒の分類

- 細菌性食中毒
 - 感染型 サルモネラ属菌、腸炎ピブリオ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など
 - 毒素型 黄色ブドウ球菌、ボツリヌス菌、セレウス菌など
- ウイルス性食中毒 小型球形ウイルス(ノロウイルス)、A型・E型肝炎ウイルスなど
- 自然毒食中毒
 - 動物性 フグ、毒カマス、貝毒など
 - 植物性 毒キノコ、ジャガイモの芽、毒セリなど
- 化学性食中毒 農薬、殺そ剤、ヒ素、鉛、PCBなど
- その他、アレルギー性食中毒

食中毒には上の分類のようにいろいろな種類のものがありますが、発生原因のほとんどを細菌性、ウイルス性のものが占め、その中でもカンピロバクター、ノロウイルス、サルモネラが発生件数、患者数の上位となっています。カンピロバクターは加熱不十分な鶏肉、サルモネラは鶏卵や加熱不十分な食肉が原因となって起こるので、十分な加熱をすることにより、食中毒を防ぐことができます。

清潔、食品の管理などに心がけ、食中毒の予防に努めましょう。



栄養管理課だより

夏野菜を食べて夏場の 疲れを吹き飛ばそう!



夏はそうめんや、そばなどあっさりとしたものが欲しくなる季節。しかしそれらばかりでは夏バテが進む一方です。夏の食事は、ごはんにも肉・魚・大豆料理などととも、夏野菜をたくさん食べて不足しがちなビタミンを補給しましょう。

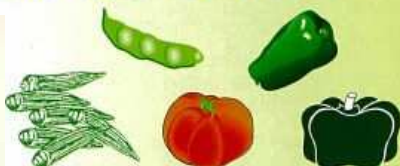
食欲のないときは、酸味をかきさせた味付けにしたり、しそやみょうがなどの香味野菜を利用するのもよいでしょう。

夏野菜には、抵抗
老化防止や抗酸化作

ビタミンC、糖質や脂質をエネルギーに変えるビタミンB1、
タミンEやカロテンが豊富に含まれています。

**おすすめ
夏野菜!**

**ヘイヤ・オクラ・トマト
ニガウリ・南瓜・枝豆・ピーマンです。**



院内トピックス

みえ乳がん検診ネットワークについて



平成19年6月より、当院健診センターで乳がん検診を受診していただくと、三重乳がん検診ネットワークに登録していただけるようになりました。

三重乳がんネットワークとは、三重県内において信頼性の高いマンモグラフィ乳がん検診を行っている医療機関の集合体です。このネットワークに登録されると、登録カードが発行され、マンモグラフィの検査データは、県内共通の検診ファイルに入力されます。以後ネットワーク内の医療機関で検診を受けられますと、前回の検診結果を参照して画像を読影が行われるため、精度の高い診断が行われ、早期の乳がん発見に役立ちます。ネットワークの登録には、費用はかかりません。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

みえ乳がん検診ネットワーク <http://mie-mmgnet.jp>

(放射線科医長 多上智康)